

# 【会議議事録】

会議名	第1回港区基本計画策定に関する支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和元年12月24日（火）18時00分から
開催場所	区役所9階912会議室
委員	出席者 4名 植田委員長、浦田副委員長、桑田委員、富田委員 欠席者 1名 岡本委員
事務局	企画経営部企画課長、企画担当係長、同係員
会議次第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール（案）について 4 事業候補者募集要項（案）について 5 採点基準表（案）について 6 閉会
配付資料	（席上配布資料）  資料1 港区基本計画策定に関する支援業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 港区基本計画策定に関する支援業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料3 選考委員会選考スケジュール（案） 資料4 港区基本計画策定に関する支援業務委託事業候補者募集要項（案） 別紙1 仕様書（素案） 別紙2 港区基本計画策定に関する支援業務委託事業候補者選考方針（案） 【様式1】質問書 【様式2】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式3】共同事業体構成書 【様式3-2】共同事業体協定書兼委任状 【様式3-3】委任状 【様式4】事業者及び業務責任者の業務実績等 【様式5】業務従事予定者の経歴及び専任性 【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式7】企画提案書①＜現行計画の課題について＞ 【様式8】企画提案書②＜計画構成の提案について＞ 【様式9】企画提案書③＜SDGsの反映について＞ 【様式10】プロポーザル参加辞退届 資料5 採点基準表（一次審査）（案） 資料5-2 採点基準表（二次審査）（案）

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
	1 開会
	2 委員長・副委員長の選出について 植田委員を委員長、浦田委員を副委員長に選出。
	3 選考委員会選考スケジュール（案）について （事務局説明）
A委員	質問受付期限が1月8日正午、質問回答が1月10日となっておりますが、参加申込期間が短いことから、質問回答を1月9日に早めることはできませんか。
事務局	質問回答は区ホームページで公表しますが、公表日の前日の正午までにホームページ更新作業を終わらせる必要があるため、質問回答は1月10日としています。
委員長	それでは、事務局案のスケジュールにのっとり選考を進めていくこととします。
	4 事業候補者募集要項（案）について
	5 採点基準表（案）について
委員長	議題4及び5は相互に関連する事項ですので、一括して議題とします。
	（事務局説明）
事務局	ご欠席されました委員から事前に意見提出がありましたのでご説明します。第一次審査の採点基準表の見積価格の採点が5区分となっておりますが、「安かろう、悪かろう」では困るので、3区分としてはどうかとの提案です。
B委員	2次審査の通過事業者数は何者程度の見込みですか。
事務局	選考方針（案）では、3者程度と設定しています。
A委員	事業候補者として決定する最低ラインである基準点は設定していますか。
事務局	選考方針（案）では、総合点に占める評価点の60%を基準点としています。また、応募事業者が1者の場合でも審査を行うこととしています。
A委員	欠席委員からのご提案については、他の評価区分が5段階であることから、見積価格だけ評価区分を3段階にすると採点しづらい部分があるかと思えます。評価係数が4倍となっているところを2倍にして、配点を20点から10点に下げることがいかがでしょうか。合計点が190点となり区内事業者の加点が端数となりますが、加点基準を総合点の5%として配点を10点、総合点は200点とし、2次審査100点と合わせて総合点300点で良いかと思えます。
各委員	異議なし。
C委員	一次審査に合格した後、当初提出した資料の修正や資料の追加は認めますか。
事務局	募集要項（案）では、提出書類の差替えや再提出は認めていません。
D委員	提案書の提案内容が、ヒアリングを行った際に実は実現性が低いということが分かる場合もあるかと考えられます。その場合は、二次審査の採点に反映すれば良いということですか。
事務局	二次審査の採点基準表の提案の実現性の項目で評価することになります。
D委員	区内事業者への加点が10点と大きな配点になっていますが、区の選考では一般的な

	設定基準ですか。
事務局	「港区プロポーザル方式実施ガイドライン」ではそのように示されています。
D委員	支社や支店が区内である場合も区内事業者となりますか。
事務局	区の契約事業者として登録されていれば支社や支店も区内事業者となります。
C委員	補足資料はA4サイズ片面2枚までとなっていますが、図や表で示す場合、A3の方が見やすいこともあるかと思えます。分量は変わらないよう、A3サイズ片面1枚までも可能としてはどうでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	第二次審査は、プレゼンテーション15分、質疑応答15分よろしいでしょうか。質疑応答は委員1人当たり3分程度となります。
各委員	異議なし。
委員長	プレゼンテーションはスクリーンに投影せず書類で説明することとなっていますが、いかがでしょうか。
C委員	説明の度に資料の該当ページを確認すると時間がかかってしまうので、投影しながら説明してもらった方が効率的で、委員も理解しやすいと考えます。企画提案書の文言や図等の変更は認めませんが、適宜、投影しながら説明することを認めてはいかがでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	採点項目についてはいかがでしょうか。
B委員	企画提案書のSDGsの反映については、どのような提案をイメージしていますか。
事務局	他の総合計画だとSDGsの目標と行政の事業を関連付けるケースが見受けられます。しかしながら、それ以外にもSDGsに効果的に貢献できる方策もあると考えており、その提案から事業者の実力を図りたいと考えました。
D委員	事業者にはどういう視点で評価するという事は伝わりますか。
事務局	選考方針（案）に、評価項目及び評価視点を記載しています。
C委員	選考方針（案）に「港区プロポーザル方式実施ガイドライン」の内容を説明する記載がありますが、必要ないので削除してはいかがでしょうか。
各委員	異議なし。
D委員	選考方針（案）に、応募事業者が1者でも審査を行うこと、総合点に占める評価点の60%を最低ラインとして設定することが記載されていますが、選考委員会内部での取り決めですので、選考方針（案）に記載して事業者に示す必要はないのではないのでしょうか。
C委員	選考方針（案）の記載は削除しますが、委員会としての取り決めが明確になるよう、採点基準表の欄外に記載することでいかがでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	今日いただいた意見の最終的な反映につきましては委員長一任でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	それでは本日出された意見を踏まえて、事務局には12月26日の公募開始に向けて作業を進めていただきたいと思います。
	6 閉会

